

2019 年度事業計画(案)

施設・事業所名 和光学園

実施する福祉サービスなど

福祉サービス事業	利用定員 A	一日平均の 利用者数 B	年間の事業 実施予定日 C	実利用目標 (年間述人数) D	利用率目標 (D/A×C) E
施設入所事業	50 名	51 名	366 日	18000 名	97%
生活介護事業	70 名	70 名	291 日	16500 名	82%
短期入所・日中一時支援事業	5 名	1 名	366 日	350 名	20%

職員体制(4 月 1 日)

職 種	員 数	区 分				常勤換 算後の 職員数	摘 要
		常 勤		非常勤			
		専従	兼任	専従	兼任		
管理者	1		1			0.1	
サービス管理責任者	2	1	1			1.7	
医師	1			1		0.1	
支援員	34	25	5	4		30.6	
看護師	2	1	1			1.7	
栄養士(管理栄養士)	1	1				1.0	
事務員等	9	4	3	2		7.4	
その他	1			1		0.3	
合 計	50	32	11	7		42.9	

重点推進目標(3 点)

○新シェアリング和光(仮称) 作業棟の建設に伴う日中活動支援体制の再編に関わる協議及び準備を行う。
○日中活動支援体制の組織図の見直しを行い責任と役割の明確化を行う。
○和光学園地下室ヘスプリンクラーを設置する。

施設整備計画

○地下室スプリンクラー設置工事	【予定額】 5, 0 0 0 千円
-----------------	-------------------

支援計画

□ 日常生活支援

食事 季節をふまえた変化に富んだ献立と栄養と利用者の身体状況に配慮したものを提供する。LEOC との給食業務委託業務の継続。

排泄 利用者の心身の状態に応じた支援を提供する。

入浴・睡眠・着脱衣・整容・移動

利用者の生活リズムを尊重し、快適清潔な生活を過ごすことが出来る支援を提供する。

□ 日中活動支援

作業活動

- ・木工（オンコの枝を使用した画鋸作り・光合金下請け作業等）
- ・クラフト（牛乳パックを利用した各種再生紙製品、塗り絵）
- ・園芸（畑・花・ブルーベリー栽培、下請け作業等）
- ・わかば（ペーパーログ作り他）
- ・のどか 歩行練習や散歩等、身体諸機能の退行防止及び機能回復のためのメニューを中心に活動。

余暇活動

- ・ダンス教室 基本毎週土曜日 午前中実施
- ・ティーボールクラブ 毎月2回実施。
- ・バドミントンクラブ 毎月2回実施。
- ・バスケットボールクラブ 毎月2回実施。
- ・水彩画（習い事） 毎月2回実施。
- ・習字（習い事） 毎月4回実施
- ・ガイドヘルパーによる個別外出実施。

運動系

後志福祉協会パークゴルフ大会、北海道フライングディスク大会、後志利用者ボーリング大会、仁木町ゆっくり歩こうスキー大会、全道ティーボール大会、

文化系

みんなアート展への作品参加、見学
後志福祉協会本人部会への参加等

□ 居住環境整備

（主な取り組み）

- ・居室における清掃の充実を図る。
- ・1年をとおして適切な室温管理と喚起等に注意を払い快適な生活環境を保持する。
- ・安全安心な生活環境を整備するため、必要に応じ修繕等を随時実施する。
- ・調理・清掃・洗濯・整理整頓・社会資源の活用・安全管理が本人の自立を妨げないように配慮し、且つ自立的な取り組みが促進されることをふまえつつ具体的・個別的な生活場面での支援を提供する。

□ 保健医療

栄養面

- ・栄養ケアマネジメントの継続実施
- ・年間行事食の充実（定期的に世界の料理の提供など）
- ・行事食年間計画に基づいた季節感のある食事の提供(生寿司、鍋物等)
- ・食事の個別化～嗜好調査の実施、検診結果の内容に基づき、個人に合った食事提供を行う。
また食器形態の変更も視野に入れながら食生活の見直しに努める。
- ・セレクト献立の充実～季節感を取り入れ、主食・主菜・デザートなどのセレクトを提案。

医療面

- ・看護師2名体制による医療業務の充実
- ・現体制の中で出来る保健指導のあり方について検討。作業班、生活棟職員との連携を強化し生活習慣の見直しを図る。
- ・各種ガン検診の継続した実施。実施困難者への個別対応検討。婦人科検診の体制整備を行う。
- ・嘱託医の桜台クリニック山田医師による定期巡回診察年2回実施

（具体的な提供内容）

健康管理

- ・嘱託医による往診をはじめ、日常的には看護師による診察・疾病予防 健康管理を行う。
 - ・肥満やそれに起因する高脂血症や高血圧等の生活習慣病が増えてきており、適宜保健指導、栄養指導を行い生活習慣、食習慣の見直しを図る。

服薬管理・通院治療

- ・常時の服薬介助及び個別疾患に応じた通院治療への支援を行う。

入院中の支援

- ・安心した入院生活をするために巡回し、適宜迅速な支援を行う

□ 社会生活支援

（主な取り組み）

コミュニケーション・自己管理

- ・一人ひとりとの信頼関係を基本としたコミュニケーションを確保しつつ、自己管理を基本に適切な支援を行う

日常・社会生活上の支援

- ・生活に係わるさまざまな情報を提供しつつ、楽しみと潤いのある生活が選択・決定を通して創造出来るような支援を行う。

□ 地域生活支援

生活介護

（主な取り組み）

- ①日中活動（生産的活動）・生活（余暇的活動）の支援を通して、安定の内に充実した社会生活を送ることが出来るように支援する。
- ②健康管理・体力向上や栄養のバランスがとれた食事提供を通して健康で自立的な日常生活を送ることが出来るように支援する。
- ③仲間との生活を楽しまつつ、地域社会での社会生活能力を経験・学習することが出来るように支援する。
- ④送迎バス利用者の安全な登園、帰宅について介護、見守り支援する。

（2）短期入所・日中一時支援事業【者・児童】

（主な取り組み）

①日常生活・日中活動の援助

基本的生活習慣に基づき快適な日常生活・日中活動を提供する。

②食事の提供

利用者の特性や嗜好及び季節的变化に配慮したバランスのとれた食事を提供する。

③入浴の実施

健康管理に配慮し清潔快適な生活のために入浴の機会を提供する。

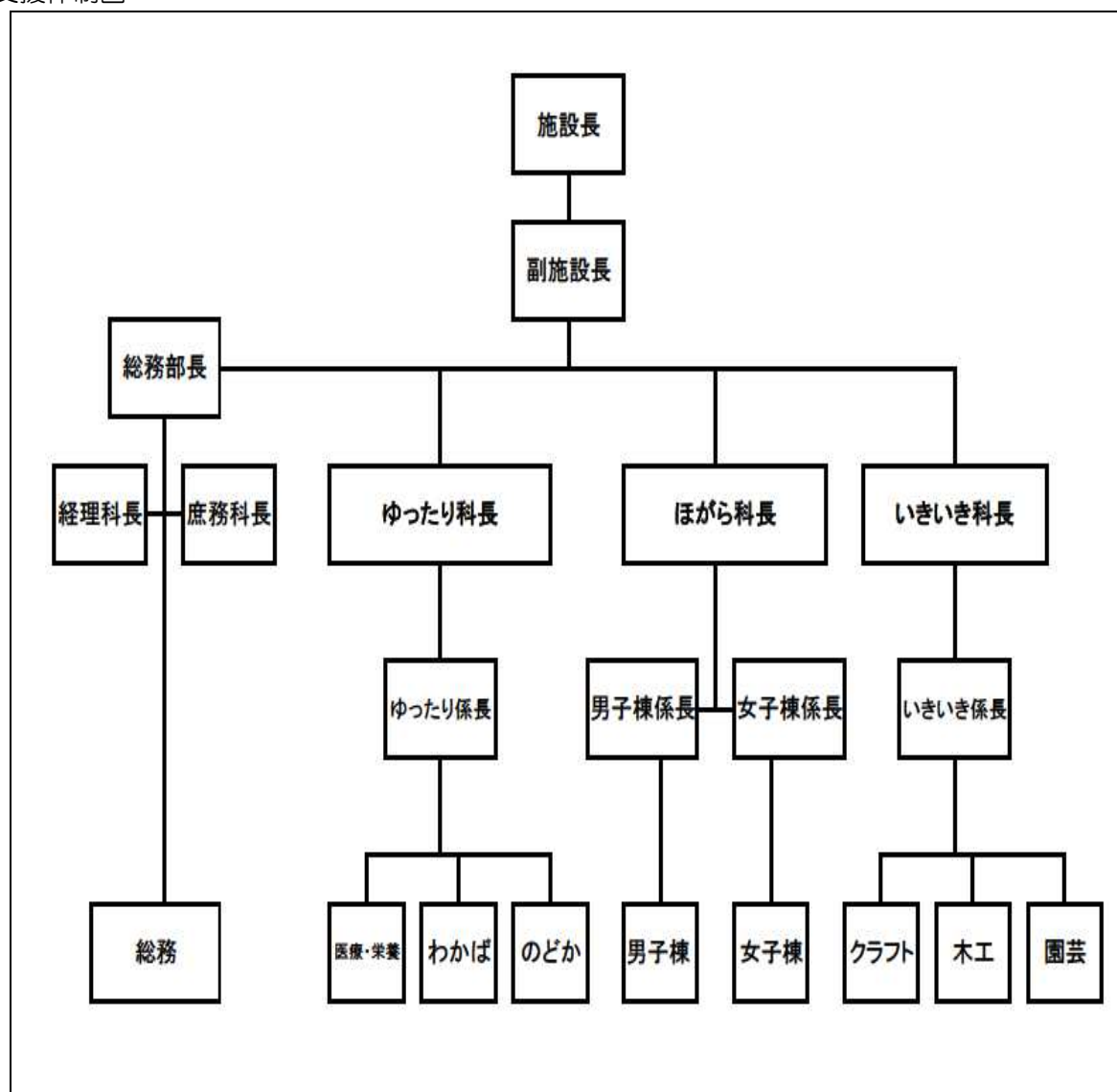
④健康管理

日常的な健康維持に配慮し、身体的な安全を確保する。

⑤相談援助

利用者の心身の状況に配慮し、必要に応じた相談援助を行うことが出来るようにする。

支援体制図



主な行事実施計画

行事名	実施日	摘 要
春のレクリエーション大会	6 月	
和光フェスティバル	9 月	
各日中活動班旅行	6 月～10 月	
秋の行事(ぶどう狩り他)	10 月	
利用者ポーリング	2 月	

会議・委員会等の開催計画

会議・委員会	実施日	摘 要
和光全体会議	年 2 回 4、9 月 第 3 火曜日	和光グループ全職員対象
和光会議	毎月 1 回 第 3 火曜日 16:30～	全職員参加対象
和光グループ経営会議	毎月 2 回 第 2、4 月 曜 日 10:00～	和光グループ各施設長、部長職参加対象。感染症対策会議を必要に応じ同時開催
和光連絡会議	毎月 1 回、第 3 火曜日 10:00～	和光学園係長職以上参加対象。必要に応じ主任参加。虐待防止会議、リスクマネジメント会議、地域生活移行会議、予算関係会議同時開催
和光グループ運営会議	毎月 2 回 第 1、3 水曜日 16:00～	和光グループ各事業所科長職、部長職参加対象
食生活会議(給食委託業者定例会議)	毎月 1 回 定例 16:00～	施設長、医療食生活科長、管理栄養士、給食委託業者との会議
日中活動各班会議	毎月 1 回 程度	各日中活動各班職員対象
棟会議	毎月 1 回 程度	男女棟各職員参加対象
個別支援計画策定会議	3 月、10 月	和光会議と同時開催
個別支援計画関係者会議	随時	サービス管理責任者を中心に開催
施設長部長会議	随時	施設長、副施設長、部長職
ケース会議	随時	サービス管理責任者を中心に開催
防災会議	随時	施設長、副施設長、部長、科長、防災担当職員
事故防止対策会議	随時	科長職以上対象必要に応じ他職員参加
医療食生活会議	随時	医療食生活科職員
総務会議	随時	総務部職員

研修計画(施設・事業所内研修)

研 修 名	実 施 日	摘 要
内部研修会	毎月 1 回 第 3 火曜日	和光会議時に開催
新任職員研修	5 月	
新任職員フォローアップ研修	3 月	
和光グループ新春研修	2 月	
法人新任職員研修	5 月	
法人年代別研修会	未定	
法人施設長部長研修会	未定	
法人科長職研修	未定	
法人自閉症研修会	毎月 1 回 定例	
法人介護研修会	未定	
法人全体体研修	未定	

研修計画(外部研修)

研修名	実施日	摘 要
触法関係研修	未定	国立のぞみの園主催
全国知的障害者施設職員研修会	未定	
全国知的障害者施設長研修会	未定	
権利擁護セミナー	未定	
権利擁護指導者養成講座	未定	
後志福祉協会研修会	未定	
全道施設職員研修会	未定	
全道施設長研修会	未定	
全道幹部職員研修会	未定	
医療栄養関係研修	未定	看護師、管理栄養士対象

権利擁護の推進方針

法人共通の安心と笑顔支援マニュアルに基づき、虐待防止への継続した取組及び権利擁護の推進を図る。

主な取組内容

呼称（さんづけ）の徹底への取組継続実施

毎月定例での虐待防止委員会の開催

毎月定例での緊急避難の一時的に行う身体拘束事例の検証と対応に係る会議の実施

内部研修会の開催

虐待防止チェックリストの実施

虐待防止に関する外部研修会への参加

ネイバースクラブの皆さんによる利用者からの聞き取りの実施等

コミュニケーション面談実施計画

風通しの良い職場風土を醸成するとともに職員個々の就業意欲を向上させ、職場定着の促進を図ることを目的に以下の要領でコミュニケーション面談を実施する。

1、実施時期 平成31年1月～2月

2、面談対象職員 和光学園全職員

3、面談者 和光学園施設長、副施設長、部長、科長

4、時間 目処として1人30分～1時間程度予定

5、場所 和光学園 相談室、会議室

6、実施方法 実施前に勤務予定表に基づき面談予定表を作成し、園内ネットワークにて周知を行う

職員健康診断実施計画

年2回全職員対象実施予定

年1回特定業務従事者検診(夜勤、宿直実施職員対象)予定

施設・事業所の構造

建 物	構 造 述 べ 面 積	<p>①和光学園本体 鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建 (2 , 6 0 9 . 9 1 平方メートル) 1 階 1356.79 平方メートル 2 階 1256.12 平方メートル</p> <p>②和光学園 木工作業棟 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 作業所 (1 1 9 . 2 4 平方メートル)</p> <p>③和光学園 旧ガラス作業棟(現シェアリング織物班作業棟) 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 作業所 (1 2 9 . 6 0 平方メートル)</p> <p>④和光学園 園芸作業棟 鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建 作業所 (1 3 4 . 4 1 平方メートル)</p> <p>⑤和光学園 クラフト班作業棟 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 作業所 (1 3 2 . 4 9 平方メートル)</p>
敷地面積	24, 220.77 m ² (北海道より無償貸付)	